

①設置届の場合は、(使用、変更)の文字を抹消すること。  
使用又は変更の場合は該当する文字を○で囲む。

揮発性有機化合物排出施設設置(使用、変更)届出書

〇〇年 〇〇月 〇〇日

大分市長 〇〇 〇〇 殿

届出者 大分市〇〇〇〇〇  
株式会社〇〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇  
電話097(512)3456

②揮発性有機化合物排出施設を設置しようとする工場又は事業場ではなく、本社又は本店等の住所(電話番号も記す。)を記入する。

大気汚染防止法第17条の5第1項(第17条の6第1項、第17条の7第1項)の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇〇〇〇 大分工場	③揮発性有機化合物排出施設の設置される又は設置されている工場名等を記入する。
工場又は事業場の所在地	大分市〇〇〇 1丁目2番3号	④③の住所を記入する。
揮発性有機化合物排出施設の種類	9:貯蔵タンク	⑤貯蔵タンクの規制対象は容量が1,000k1以上だが、既設の貯蔵タンクへの排出基準の適用は容量が2,000k1以上のものとなる。ただし、容量1,000k1以上2,000k1未満の既設の貯蔵タンクであっても、設置・使用届出義務及びVOC濃度の測定義務等は適用される。
揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙1のとおり。	
揮発性有機化合物の処理の方法	別紙2のとおり。	

- 備考 1 揮発性有機化合物排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、函面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ない。

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるように変更の前後を対照させて記入する。

揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号	○ 号	
名称及び型式	貯蔵タンク	
設置年月日		
着手予定年月日		
使用開始予定年月日		
規模	送風機の送風能力 (m <sup>3</sup> /h)	
	排風機の排風能力 (m <sup>3</sup> /h)	
	揮発性有機化合物が空気に接する面の面積 (m <sup>2</sup> )	
	容 量 (k l)	2
1日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間/回 1回/日 31日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月
排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)		
使用する主な揮発性有機化合物の種類	トルエン	
揮発性有機化合物濃度 (容量比 ppm (炭素換算))		
参考事項		

②設置届又は変更届の場合に記入する。届出が遅れ、この届出をするときに、既に設置の工事をしている場合には、「着手年月日」と読み替えて記入する。「使用開始予定年月日」も同様である。

③当該施設を最も多く使用する期間(月)における平均使用状況を記載する。貯蔵タンクについては、高揮発性VOCを貯蔵している日数を記載する。

④届出の際に予定されている使用条件に従い、当該施設を定格能力で運転するときの排出ガス量を記載する。

⑤トルエン、キシレン等の物質名を記載する。当該VOCが石油類である場合は、物質名ではなく、ガソリン、原油、ナフサ等の製品名を記載すればよい。

備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。  
 場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであつて、最大のものを記載すること。
- 5 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態における量に換算したものとする。
- 6 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 8 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 9 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法(排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。)等を記載すること。

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるよう  
に変更の前後を対照させて記入する。

揮発性有機化合物の処理の方法

揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号		○号	
処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号		○号タンク	
揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び型式		フレアースタック	
設	置	年	月
日		年	
着	手	予	定
年	月	日	○年
使	用	開	始
年	月	日	○年
処 理 能 力	排出ガス量 ( m <sup>3</sup> / h )		
	揮発性有機化合物濃度 (容量比 ppm (炭素換算))	処理前	
		処理後	
処 理 効 率 (%)			

②設置届又は変更届の場合に記入する。届出が遅れ、この届出をするときに、既に設置の工事を行っている場合には、「着手年月日」と読み替えて記入する。「使用開始予定年月日」も同様である。

③届出の際に予定されている使用条件に従い、当該施設を定格能力で運転するときの排出ガス量を記載する。

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出ガス量は、湿りガスであつて、最大のものを記載すること。
- 3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 4 揮発性有機化合物の処理施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。